

補正予算の主なもの

正算
補予

	追加額	内容
新生児子育て支援金	600,000 円	新生児出産時の交付金
子どものための教育・保育給付事業	21,959,000 円	保育士に対する補助金
日立木小学校校舎改修事業	673,653,000 円	コンクリート中性化、校舎断熱性向上等
大野台サポートセンター費	1,255,000 円	水道料金、浄化槽清掃
復興市民市場の運営主体設立準備委員会の負担金	1,000,000 円	運営主体の設立に係る準備金（登記や登録料）

日立木小学校校舎改修事業、

復興市民市場の運営主体設立準備委員会の負担金等、

5億4、629万3、000円を追加

新生児子育て支援金

及び保育士への補助金



第1子が生まれると5万円、第2子が生まれると8万円、第3子が生まれると10万円を交付するもの。

平成29年度から保育士の処遇改善のため、最大で月額4万円の補助をするもの。

議員

今回、需要が多いために補正するものなのか。

市

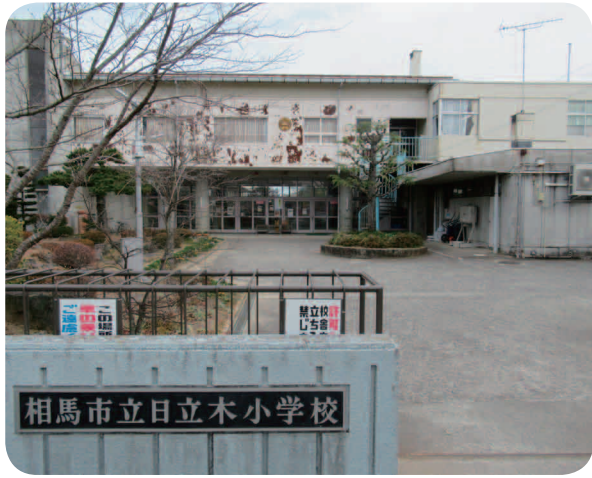
新生児子育て支援金は、平成29年11月末に比べると、9名の方が多く申し込んでおり、これにより、3月まで10名の増加を見込んだものである。

子どものための教育・保育給付事業は、相馬市内に90名の保育士がおり、その分が加算になる。

日立木小学校の校舎改修

日立木小学校校舎の改修事業が平成30年度から平成32年度までの工期となっているため、継続費の設定をするもの。

各年度割は平成30年度に3、368万3、000円。平成31年度に3億3、682万6、000円。平成32年度に3億314万4、000円を計上。



建築から46年が経過し、深刻な老朽化が進む日立木小学校の校舎

議員

3年間にわたる事業内容について問う。

市

コンクリートの中性化対策事業、校舎の断熱性の向上、給排水及び電気の配線などのライフラインの交換、屋根の防水対策工事、空調機の設置、トイレ洋式化の工事、照明のLED化となっている。

議員

工期は長期休暇を勘案しながらの3年間なのか問う。

市

夏休みや冬休み等の長期の休みを考慮しつつ、学校の授業の合間を縫って工事をする予定である。

大野台サポーターセンター

閉鎖にかかる費用

大野台サポーターセンターの水道料が不足した分、同センターが本年度で閉鎖するために浄化槽を最終清掃するための費用として、123万5、000円を計上。

議員

現在の利用状況はどうなっているのか。また、閉鎖して問題はないのか。

市

現在、大野台の第6仮設住宅には主に飯館村の方がおり、1日平均、約12名の方にお風呂等で利用をいただいている。

大野台サポーターセンターの設置者である福島県から飯館村に、同センターの今後の利用状況の確認をしたところ、本年度でおおむね利用者がいなくなるという見込みであり、申し出があったため、閉鎖するものである。

復興市民市場の運営主体

設立準備委員会の負担金

市が中心となって設立する官民共同事業体をスムーズに立ち上げるために、市で準備する負担金として100万円を計上。

議員

当初予算で計上した出資金と、今回の100万円の違いを問う。

市

当初予算に計上した750万円については、市の出資金という形での計上である。

今回の100万円は、運営主体を設立するに当たり、会社の登記費用や登録料を支出する必要が発生し、それを市として準備していくために計上するもので、使用目的が違っている。

議員

市以外の出資者と出資金額について問う。

市

出資者については、今後、経営体の選定委員会を開催する予定であり、その経営体選定委員会で認定を受けた後に、出資者が確定するということになるため、現時点では個人名、団体名については申し上げられない。

しかし、出資を予定している団体、個人の方々については、加工業者、旅館業者、漁業者、仲買人業者、卸売業者、店舗経営者等が現在出資予定となっており、市を含め10名程度のメンバーとなっている。

議員

本会議初日の市長あいさつで、市観光協会をはじめ、観光やスポーツ等に関係する12の団体から要望書の提出があったとのことだが、詳細を問う。

市

要望書を提出された団体名は、相馬市観光協会、相馬市ホテル旅館組合、相馬市松川浦観光旅館組合、NPO法人相馬光陽パークゴルフ、NPO法人オール相馬軍ソフトボール倶楽部、相馬市ソフトボール協会、NPO法人ドリームサッカー相馬、和田観光母組合、合同会社和田いちごファーム、相馬総合卸売市場株式会社、株式会社相馬青果、相馬魚類株式会社の12団体となっている。

